

HDE Mail Filter[®] ///

High Performance Mail Filtering-Archive Software for Linux

/// Professional Edition | /// Enterprise Edition | /// EX-Archive Edition | /// Archive Edition

組織内からの情報漏洩を防止し
外からの不要メールを遮断する
電子メールフィルタリングソリューション

組織内の機密情報漏洩を防止

添付ファイルにも対応した電子メールフィルタリング機能

電子メールが元で将来起こり得るリスクの回避

送受信された電子メールを全て保存し、迅速な検索を実現するアーカイブ機能

さまざまな組織においても柔軟に対応

複数の管理者を作成し任意に権限の設定ができるマルチアドミン機能

社員のモラル及び生産性の向上

社員の電子メールの利用状況を把握するグラフィカルなレポート機能

HDE Mail Filterとは、電子メールによる個人情報等の機密情報漏洩防止や、社内外で送受信された電子メールの保存を行う電子メールセキュリティソフトウェアです。電子メールによるコミュニケーションが日常化している現在のビジネスシーンにおいて、各ビジネスプロセスにおける電子メールの記録は、企業内情報管理を行う上で重要なポジションを担っています。また、電子メールは保管していれば訴訟の場合証拠として使える可能性があるため、リスク管理の観点からも電子メールの保存は重要です。さらに、2008年4月より義務化されると言われている金融商品取引法の中の内部統制（いわゆる日本版SOX法）においても同様の内容が盛り込まれると予想されます。しかし、いくらメールを保存していたとしてもその完全性が保証できなければ、メールの信頼性は著しく低下してしまいます。HDE Mail Filterでは、新たに改ざん監視機能を備え、保存されたメールの完全性を保証します。

情報セキュリティ管理基準 (ISO/IEC 17799:2000、JIS X 5080:2002と互換性のある基準) この基準では、以下のようなことが求められています。

- ・ 電子メールの添付ファイルの保護
- ・ 会社の信用を傷つける恐れのある行為に対する従業員の責任
- ・ 保管していれば訴訟の場合証拠として使える可能性があるメッセージの保存

HDE Mail Filterのフィルタリング機能及びアーカイブ機能を利用することにより、上記の対策を行うことができます。

Security Exchange Act of 1934 (米国証券取引法)

米国の証券取引委員会 (SEC) では、Security Exchange Act of 1934 において、上場企業は送受信された電子メールを3年間保存する義務が課せられています。また、最低でも2年間は簡単に検索・閲覧が可能な状態にしておくことと定めています。日本においても、米国の企業改革法（サーベンス・オクスリー法）に対応する法律が議論されており、同様の内容が今後求められると予想されます。HDE Mail Filterのアーカイブ（保存）機能を利用すれば、簡単に送受信された電子メールの保存が可能だけでなく、保存したメールを全文検索機能によりスピーディに検索することが可能です。



個人情報保護法

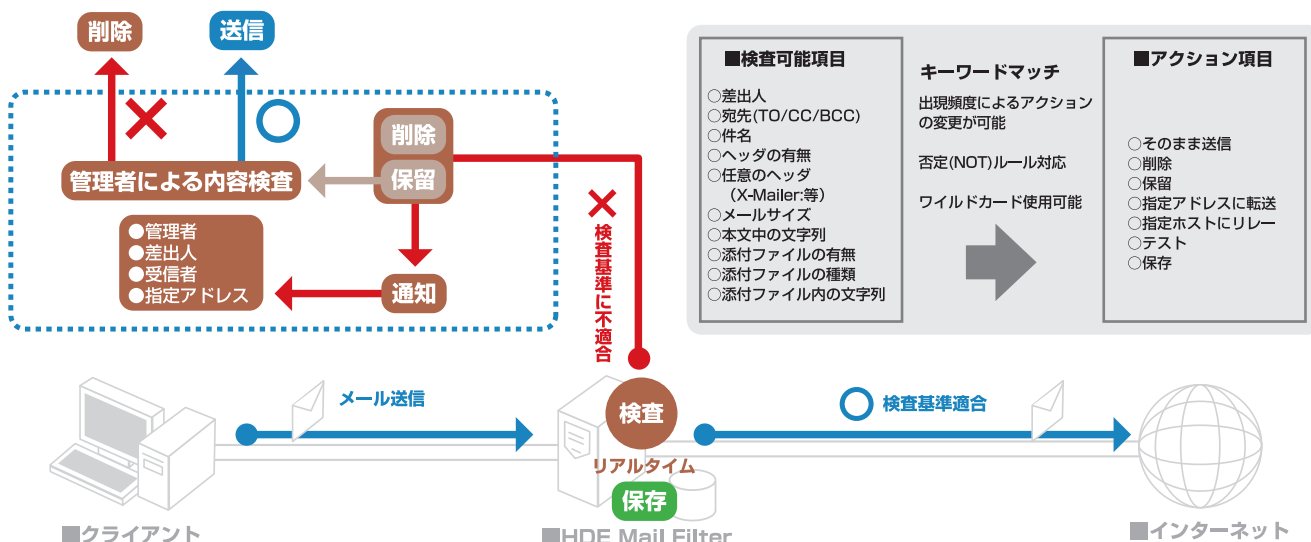
この法律では、企業は個人情報の取り扱いに対し、利用目的の特定および制限、適切な取得、取得に際する利用目的の通知または公表、安全管理、第三者提供の制限などを義務付けられ、それに違反した場合は、行政機関によって処分が下されます。HDE Mail Filterのフィルタリング機能を活用することにより、電子メールによる個人情報流出のリスクを減らし、適切な安全管理を実現します。



※株式会社ミック経済研究所「情報セキュリティソリューション市場の現状と将来展望2006」電子メールフィルタリングパッケージ出荷金額より

HDE Mail Filterのしくみ

内部ネットワークから外部に送信される電子メールおよび、外部ネットワークから内部に送信される電子メールを決められたルールに基づいて検査し、不適切なメールに対し自動的に処理を行うとともに中継された全ての電子メールを保存することができます



HDE Mail Filter ラインナップ

Enterprise Edition	複数台構成および串刺し検索に対応した大規模システム向けメールセキュリティソリューション
Professional Edition	電子メールのフィルタリング及びアーカイブを行うスタンダードなメールセキュリティソリューション
EX-Archive Edition	検索のためのインデックス作成の高速化が実現された大規模システム対応メールアーカイブソリューション
Archive Edition	電子メールの保存のみを行いたいユーザー向けメールアーカイブソリューション

HDE Mail Filter の主な機能

アーカイブメールの非改ざん証明機能 **NEW**

いくらメールが保存されていても、そのデータが外部もしくは内部から改ざんが可能であれば、そのメールの信頼性は著しく低下してしまいます。HDE Mail Filterでは、アーカイブ（保存）されたメールが完全であるということをチェックする非改ざん証明機能により、メールの信頼性を向上します。

フィルタリングルールの多階層化に対応 **NEW**

今までフィルタリングルールを作成する場合、対象のメールグループ毎にルールを設定する必要がありました。当バージョンでは、フィルタリングルールを階層化することができるため、全社共通ルールや部門共通ルールといったルールを作成し、適用することができます。これにより、全社共通ルールを変更する場合複数のルールを再設定する必要がなくなりました。



マルチアドミン機能

大きな組織では、組織内全てのメールを1ヶ所で管理することは困難です。さらに部門や部署ごとにフィルタリングのポリシーが異なる場合、フィルタリングのポリシーの設定も相当な作業負担になってしまいます。HDE Mail Filterでは、メールグループごとに管理者を設定することができ、それぞれの管理者が任意にフィルタリングのポリシーを追加することができます。さらに、保留メールの閲覧権限のみを持った管理者も作成できるため、設定作業を行うユーザーと、閲覧しチェックを実際に行うユーザーを分けることも可能です。この機能により、さまざまな規模の組織にも柔軟に対応することができます。

アーカイブサーバーの複数台構成への対応 および串刺し検索の実現(Enterprise Edition/EX-Archive Edition)

大量のメールを保存する場合、もしくは、長期間メールを保存する場合、メールを保存するために必要なストレージ容量も多く必要となります。逆にストレージの容量が多くなると、メールの検索が困難になる問題がありました。そこでアーカイブサーバーの複数台構成へ対応し、それらのサーバーに対して、串刺し検索を可能にしました。これにより大量のメール検索を可能にし、長期にわたる大容量のメール保存を実現します。

内部から外部に対して送られるメールに 対してのBCCフィルタリング機能 **NEW**

今まで、BCCはメールヘッダには含まれないため、BCCをフィルタリングの条件とすることができませんでした。そのため、情報漏洩防止のため、送信メールに上司をCCに入れるといったポリシーが使用されていました。しかし、CCの場合受信者にメールアドレスが通知されてしまうため、受信者に上司のメールアドレスを伝えたくない場合の対応ができませんでした。当バージョンでは、BCCを含んだメールも条件としてフィルタリングすることが可能になります。これにより、上司のメールアドレスをBCCに入れるというポリシーの設定が可能になり、不必要に上司のメールアドレスを外部に漏らすことを防止します。

アーカイブメールの復元（再送）機能 **NEW**

誤った操作やトラブル等でクライアントからメールが削除されてしまった場合、そのメールを検索しHDE Mail Filterで復元し再送することができます。

管理者操作ログ機能 **NEW**

組織が大きき場合、作業の負荷分散のため、複数の管理者を置くケースが大半になります。管理者数が増えれば増えるほど不正を行う管理者の出る可能性や誤操作の確率が高くなります。HDE Mail Filterでは、管理者の行った操作ログを保存し、万が一の事態に備えることができます。

様々な添付ファイルに対応した検査機能（オプション）

Microsoft Office製品をはじめ、PDFファイル等の添付ファイルの検査ができます。この機能により、Excelなどの添付されたファイルを検査し、情報漏洩の防止を実現します。

クラスタソフトウェアと連携し高い可用性を実現

クラスタソフトウェアと連携し、冗長化構成を組むことにより、高い可用性を実現できるようになりました。これにより、スケーラブルなシステムの構築にも対応いたします。※別途クラスタソフトウェアの購入が必要です。

送受信メールの稼働状況をレポートिंग

メールの送受信ログや検査履歴を元に、グラフィカルなレポートを生成。メールの利用傾向の把握や過去の履歴の検索が可能です。

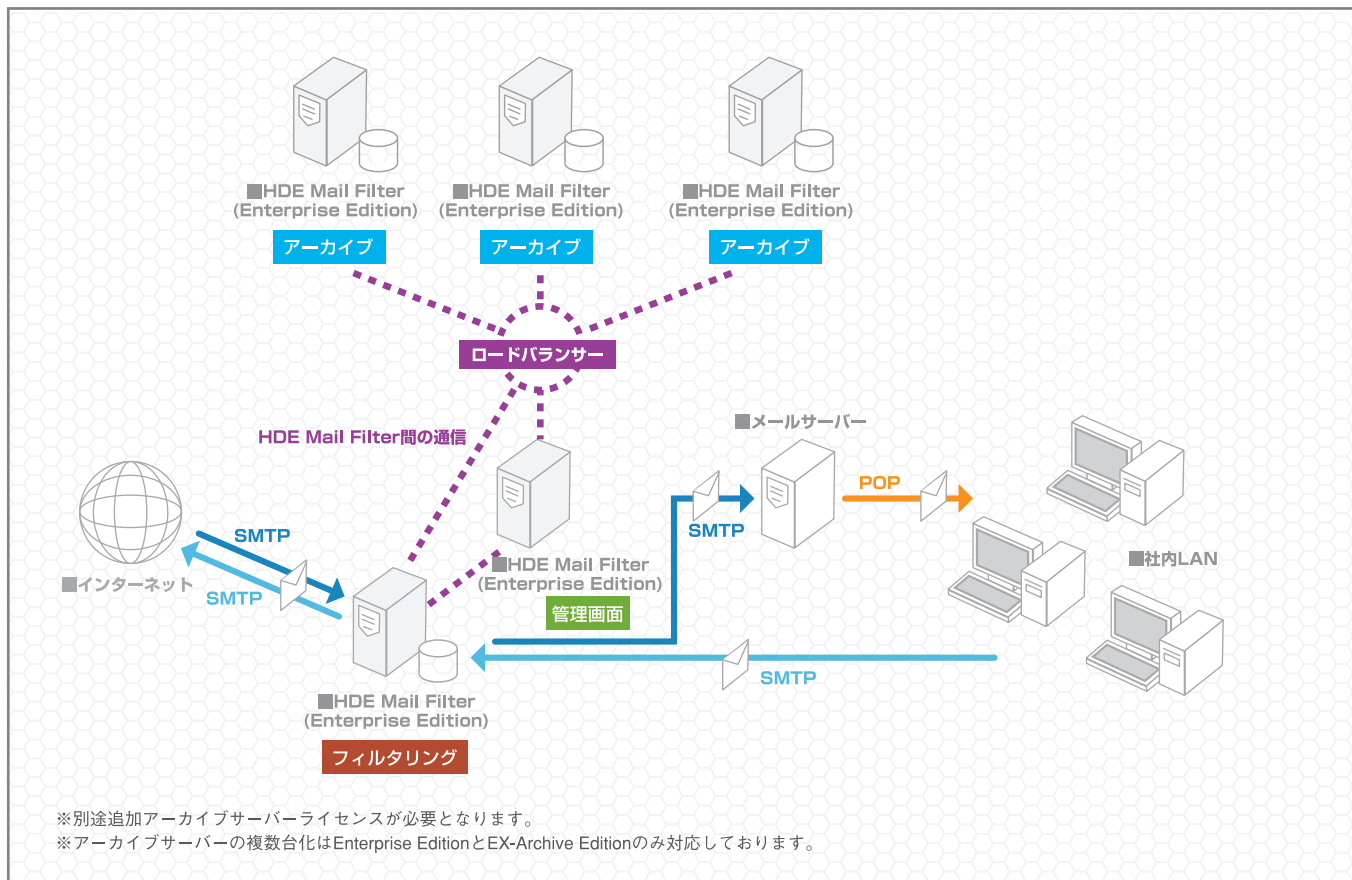
- メール処理数
- メール発信者別利用状況
- メール受信者別利用状況
- メール発信ドメイン別利用状況
- メール受信ドメイン別利用状況
- 配送ルール運用状況
- 検査ルール運用状況



HDE Mail Filter の構成例

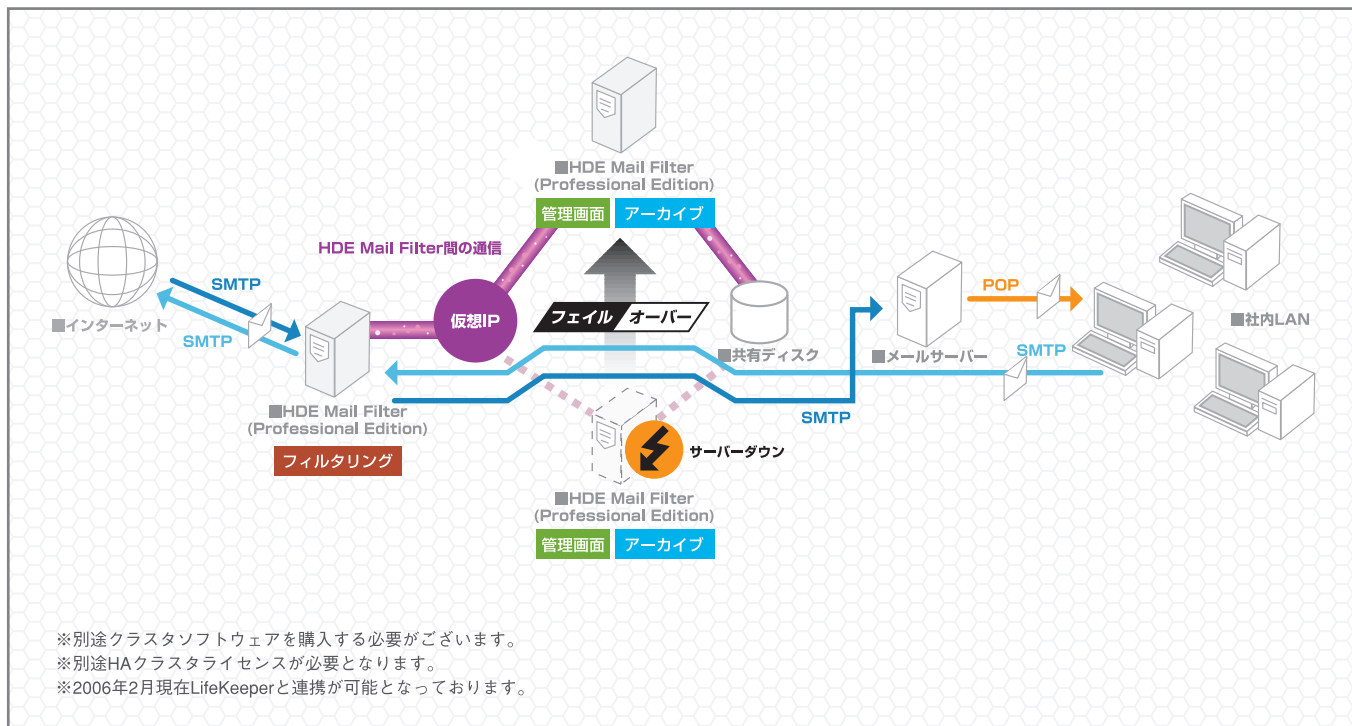
アーカイブサーバーを複数台化した構成

より多くより長期にメールのアーカイブ（保存）ができる構成です。複数のサーバーに対して串刺し検索が可能で、大量のメール検索も可能です。



HAクラスタソフトウェアを利用した冗長化構成

高い可用性を求められるメールシステムにおいてダウンタイムを最小限に抑える構成です。



電子メール監査システムに必要な機能とは？

メールアーカイブ機能

日々受信される電子メールの情報管理の観点から、電子メールの保存（アーカイブ）は必要不可欠な機能です。しかし、いざというときに電子メールが簡単に抽出できなければいくら電子メールを保存していても活用することができません。電子メールの保存および必要なときにメールを抽出できる検索環境の構築は電子メールにおけるコンプライアンスや、企業のリスク考えると、最低限行う必要があります。



メールフィルタリング機能

電子メールを保存するだけでは、最低限のコンプライアンスは行われていても、情報漏洩等が発生した場合、事後確認という形になるため、リアルタイム性に欠けてしまいます。メールポリシーを策定し、それに沿ったフィルタリングを実施することによって、情報漏洩等のリスクを未然に軽減することができるようになります。



HDE Mail Filter の活用例

HDE Mail Filterは、以下のようなケースに対するソリューションを提供します。

ケース1：情報漏洩防止

添付ファイルもしくはメール本文において、電話番号の形式の文字列が10個以上あった場合、メールを保留するというフィルタリングルールを作成し、個人情報の可能性が高いメールの送信を保留し、情報漏洩を事前に食い止める。

~~03-XXXX-XXXX~~
~~03-XXXX-XXXX~~

ケース2：私用メールの禁止

「外部へのメールで上司にCC:もしくはBCC:がないメールは私用メールと判断する」というポリシーを策定し、この条件に該当した場合、上司が保留メールからその内容を確認することにより、私用メールを禁止する。

~~BCC/CC:~~

ケース3：過去メールの調査

半年前に退職した社員に関連する取引のお問い合わせが来た場合、以前行われたメールでのやり取りをメール履歴より参照し、内容を確認する。



ケース4：証拠メールの提出請求

裁判においてやり取りの証拠メールの提出が求められた。過去のメールのアーカイブから、時期、受信者、送信者を限定し検索し、検索結果の中から必要なメールをダウンロードし提出する。



ケース5：パフォーマンス低下抑止

ネットワーク負荷の軽減のため、3MB以上の添付ファイルを原則として禁止した。そこで、3MB以上の添付ファイルは、緊急の場合もあるのでそのまま送信するがログに残し、ひどい場合は注意の対象にする。



機能一覧

	●Archive Edition(EX-Archive Edition)	●Professional Edition	●Enterprise Edition
保留メール管理			
保留メール一覧表示	×	○	○
放置保留メール通知	×	○	○
メールグループ管理			
メールグループ登録機能	○	○	○
メールアドレス検索機能	○	○	○
メールアドレス一括登録機能	○	○	○
フィルタリング機能			
フィルタリング機能一覧を参照	×	○	○
通知メッセージ編集機能	×	○	○
BCCフィルタリング機能	×	○	○
フィルタリングの多階層化	×	○	○
メール配送統計管理			
統計サマリ	○	○	○
アーカイブ管理			
リソース情報	○	○	○
メール検索	○	○	○
スケジュール設定	○	○	○
メール復元(再送)機能	○	○	○
非改ざん証明機能	○	○	○
アーカイブサーバーの複数台化	×(○)	×	○
ゲートウェイ管理			
アクセス制御	○	○	○
受信制御	○	○	○
不正メール処理時通知	○	○	○
POP/IMAP before SMTP設定	○	○	○
システム管理			
サーバーステータス	○	○	○
システム構成	○	○	○
管理画面アクセス制御	○	○	○
バックアップ管理	○	○	○
アカウント管理			
管理者設定	○	○	○
冗長化機能			
ゲートウェイの複数台化	○	○	○
インデックス作成高速化	×(○)	×	○
クラスソフトウェア連携	○	○	○

※0内はEX-Archive Edition

サポート

製品標準価格の15%にて年間サポートを提供します。
内容はFAX、Eメールによる10インシデントのお問い合わせ
および、ソフトウェア無償バージョンアップ権利が付属します。

※インストール、導入、コンサルティングサービスも別途ご用意しております。
詳細につきましては弊社ホームページをご覧ください。

推奨動作環境(50ユーザー時で使用の目安)

CPU	Intel Pentium 4 / 2.6GHz 以上
メモリ	1GB 以上
HDD	10 GB以上の空きスペース (メール保存には別途容量が必要)
OS	Red Hat Enterprise Linux ES/AS/WS 4(32bit版) Red Hat Enterprise Linux ES/AS/WS 3(32bit版) TurboLinux 10 Server

上記は50ユーザー時で使用の目安となります。メールの流量によって、
必要動作環境は変動いたします。必要動作環境につきましては、別途お
問い合わせいただきますようお願いいたします。

検査可能添付ファイル(オプション)

※「HDE Mail Filter 添付ファイル検査オプション」をご購入ください。

- Microsoft Word2003/Word2002(XP)/2000/98/97/95
- Microsoft Word98/2001 for Mac
- Microsoft Excel 2003/Excel2002(XP)/2000/97/95
- Microsoft Excel98/2001 for Mac
- Microsoft PowerPoint2003/PowerPoint2002(XP)/2000/97/95
- Microsoft PowerPoint 98/2001 for Mac
- 一太郎 Ver.5-Ver13, 一太郎2004,一太郎2005
- 富士通OASYS V6/V7/V8/2002
- Lotus Word Pro2001
- DocuWorks 5.0/6.0
- Acrobat 4.0/5.0/6.0 pdf 1.2/1.3/1.4/1.5
- リッチテキスト RTF
- テキスト文書 JIS/EUC/SJIS/UCS-2/UTF-8
- XML文書 HTML/XML/SGML

フィルタリング対応圧縮ファイル

ZIP、LZH、LHA、GZIP、Z、TAR Z、TAR GZIP、CAB、BZIP2

HDE Mail Filter 3製品価格(税込)

	ユーザーレンジ	Archive Edition	EX-Archive Edition	Professional Edition	Enterprise Edition
25ユーザー版	1~25	¥220,500	¥264,600	¥315,000	¥472,500
50ユーザー版	26~50	¥367,500	¥441,000	¥525,000	¥787,500
100ユーザー版	51~100	¥588,000	¥705,600	¥840,000	¥1,260,000
250ユーザー版	101~250	¥882,000	¥1,058,400	¥1,260,000	¥1,890,000
500ユーザー版	251~500	¥1,323,000	¥1,587,600	¥1,890,000	¥2,835,000
700ユーザー版	501~700	¥1,470,000	¥1,764,000	¥2,100,000	¥3,150,000
1000ユーザー版	701~1000	¥1,617,000	¥1,940,400	¥2,310,000	¥3,465,000
1500ユーザー版	1001~1500	¥2,058,000	¥2,469,600	¥2,940,000	¥4,410,000
2000ユーザー版	1501~2000	¥2,352,000	¥2,822,400	¥3,360,000	¥5,040,000
2500ユーザー版	2001~2500	¥2,793,000	¥3,351,600	¥3,990,000	¥5,985,000
3500ユーザー版	2501~3500	¥3,087,000	¥3,704,400	¥4,410,000	¥6,615,000
5000ユーザー版	3501~5000	¥3,528,000	¥4,233,600	¥5,040,000	¥7,560,000

※5001ユーザー以上の価格については弊社までお問い合わせ下さい。

添付ファイル検査オプション価格(税込)

¥31,500

●本カタログは2006年6月現在のものです。
製品に関する詳細な情報は、弊社ホームページをご参照下さい。

<http://www.hde.co.jp/mf/>

HDE 株式会社ホライズン・デジタル・エンタープライズ
Horizon Digital Enterprise, Inc. E-mail: info@hde.co.jp <http://www.hde.co.jp/>

※記載の会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
※HDEは、Horizon Digital Enterprise, Inc.の登録商標です。
This product includes software developed by the Apache Group for use in the Apache HTTP server project(<http://www.apache.org/>).
This product includes software written by PHP Development Team.

R100
古紙/再生紙配合率100%再生紙を使用